

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち			
	4 身近な学びと交流があるまちづくり			
施策名	(2) 郷土を愛し、地域の歴史と文化を継承する社会の実現			
施策コード	1-4-2	施策構成	3 事務事業	決算額 80,427 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	郷土の歴史に興味を持っている町民の割合	%
②	客観指標	歴史資料館の来館者数(社会教育課)	人/年
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	35.2	32.2	31.9	31.7	35.4	—	↗	—		
②	9,759	10,983	9,194	9,042	7,667	3,013	11,000	0%		
③										
④										

■施策における総括

前年度までの課題	粕屋町で初となる国指定史跡が誕生したことで、町の財産として活用を図るべく様々な企画や情報発信を駆使し、周知に努める。また、新型コロナウイルス感染症対策を念頭に置きつつ、魅力ある企画を創出していく。近年、町内の開発が急増し、それに伴う発掘調査件数も増加しているが、相互の事業に支障をきたさぬように協議調整を行う。
今年度の取り組み(成果、効果)	新型コロナウイルス感染症対策のため、ワークショップの中止や歴史資料館の利用制限を行った。町民文化祭の代替事業として作品展を歴史資料館展示室で行った。歴史の理解が深められる、小・中学生のための粕屋町の歴史[令和版]を刊行した。開発等における緊急発掘調査については、計画通りに4件の埋蔵文化財調査を行うことができた。
次年度以降に改善すべき課題	新型コロナウイルス感染症対策のため、歴史資料館において歴史学習の場を提供できないが、サンレイクかすやを会場として講座やシンポジウムを実施し、地域の歴史への意識高揚を図る。阿恵官衙遺跡の保存活用計画を策定し、史跡地の公有化を行う。開発件数の増加に伴う発掘調査の件数の増加に対応するため、調査体制の改善が必要である。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
○	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。	○	②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。		③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。